

APPENDIX

CONCISE EXPLANATION UNDER RULE 98

JP 2-126652 U

This document discloses an apparatus for transfusion to provide a person with a fluid medicine that is warmed by a portable warmer using iron powder or an electric heater and maintained at near the body temperature.

JP 49-101588 U

This document discloses an apparatus to warm a fluid medicine in a rubber tube for transfusion, the apparatus having a groove on the surface to receive the rubber tube in which the fluid medicine flows, and filled with fluid heating medium within which is warmed by an electric heater controlled by a temperature control means at a predetermined temperature.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-126652

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)10月18日

A 61 M 5/44

6859-4C A 61 M 5/14 4 6 7 F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 点滴の苦痛を和らげる器具

⑯ 実 願 平1-24554

⑰ 出 願 平1(1989)3月3日

⑱ 考 案 者 鈴 木 勝 弘 愛知県名古屋市北区大我麻町193番地

⑲ 出 願 人 鈴 木 勝 弘 愛知県名古屋市北区大我麻町193番地

## 明細書

## 1、 考案の名称

点滴快適

## 2、 実用新案登録請求の範囲

①熱を加えることによって点滴開始から終了までの間の薬液の温度を常に体温近くに保つ器具。

②器具の使用は人間と限定しない。

## 3、 考案の詳細な説明

①点滴の薬液は冬はもちろんのこと夏も冷房によって低温である。

②薬液のボトルを他の場所で温めてから使用する方法もあるが、温度がだんだんと下がり一定に保つことができない。

③特に病気の重い患者の場合、点滴は何種類にもなり長時間になるため尿意を堪えて寒さに耐えている状態なので、早急に改善する必要がある。

以上の理由により、点滴ボトルー滴下管ー滑車ー注射針の間に使い捨てカイロを熱源としたもの、又は電気を熱源としたものを取り付けて薬液を一定の温度に保つ器具を考案しました。

実用新案登録出願人 鈴木勝弘

682

明細書

4、 図案の簡単な説明

第1図は、点滴の器具の一例を示す。

- 1…薬液ボトル
- 2…滴下管
- 3…滑車
- 4…クコ管、注射針

第2図は、使い捨てカイロを点滴器具に固定する前の状態を示し、外側から1、2、3、と重ねて使用する。

- 1…カイロを点滴チューブに固定するホルダー
- 2…使い捨てカイロ
- 3…温度調節用の布、ゴム、綿等
- 4…ホルダーのカイロ滑り止め

第3図は、布、ゴム等で作った袋に使い捨てカイロを入れて点滴器具に固定する前の状態を示し、これをマジックテープで固定して使用する。

- 1…サイフ状のカイロ入れ
- 2…使い捨てカイロ
- 3…カイロを点滴器具に固定するマジックテープ

第4図は、電気を利用した温度調節器付きヒーターを点滴器具に固定する前の状態を示す。

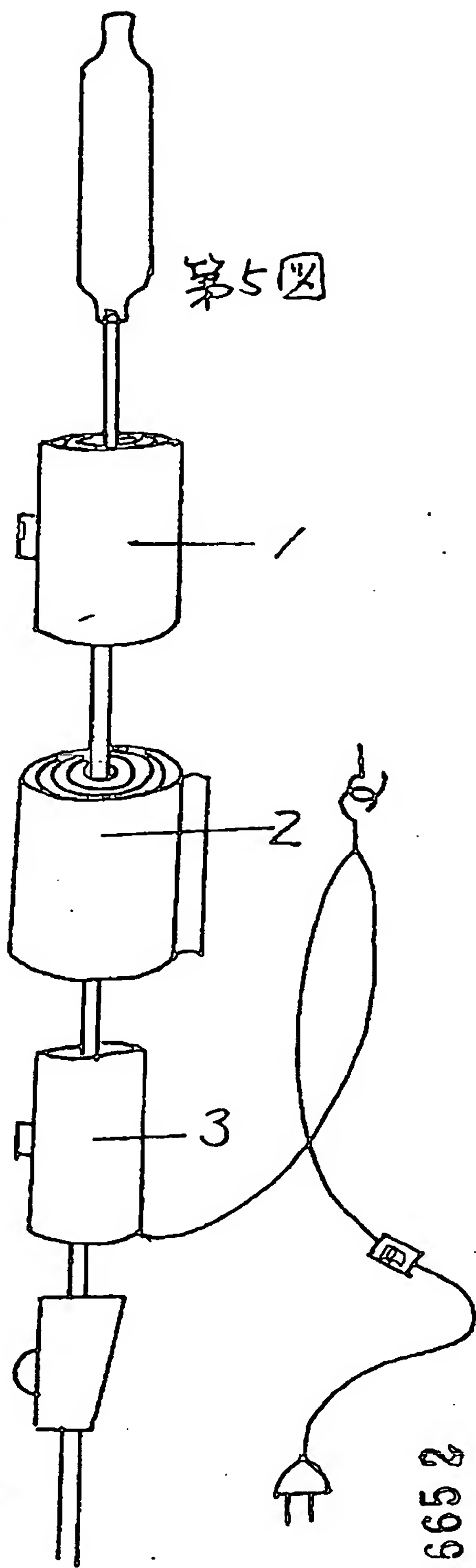
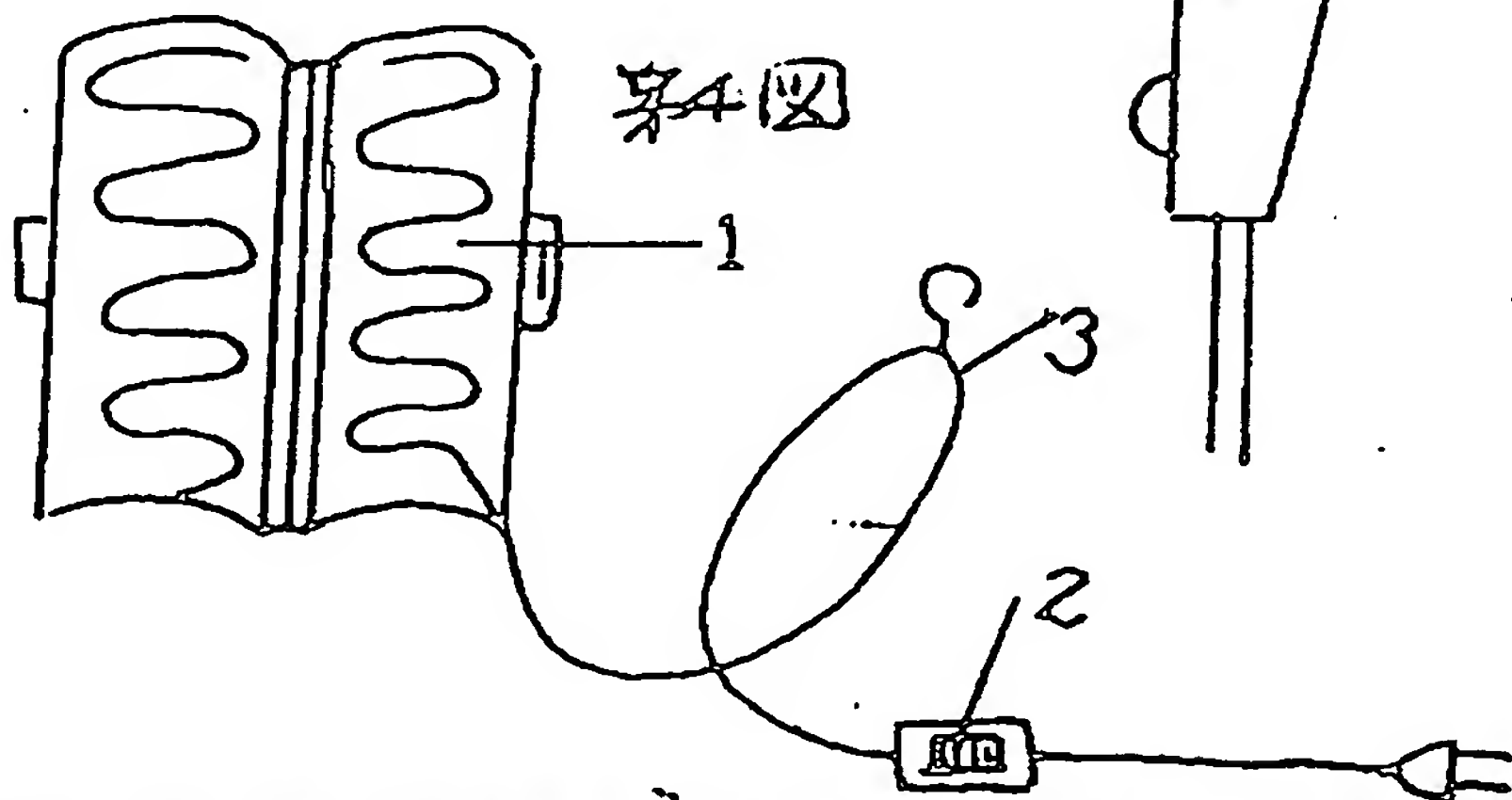
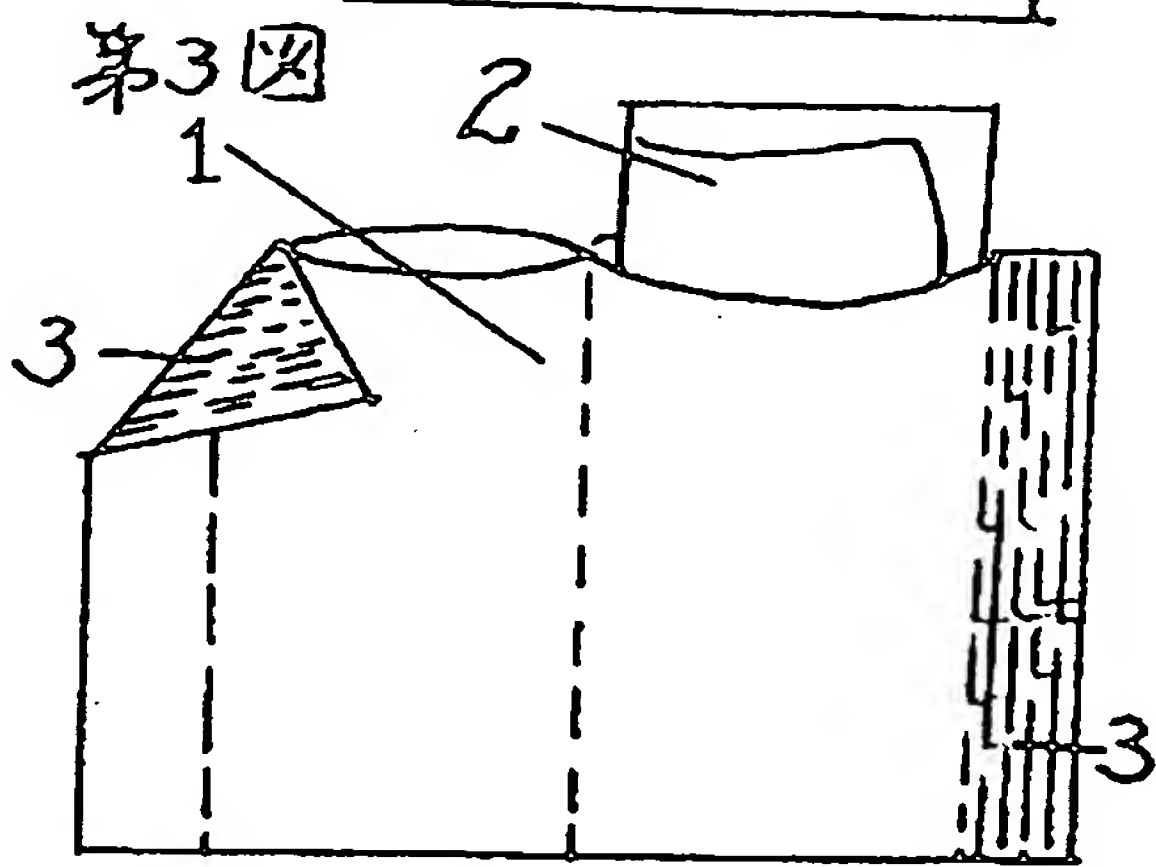
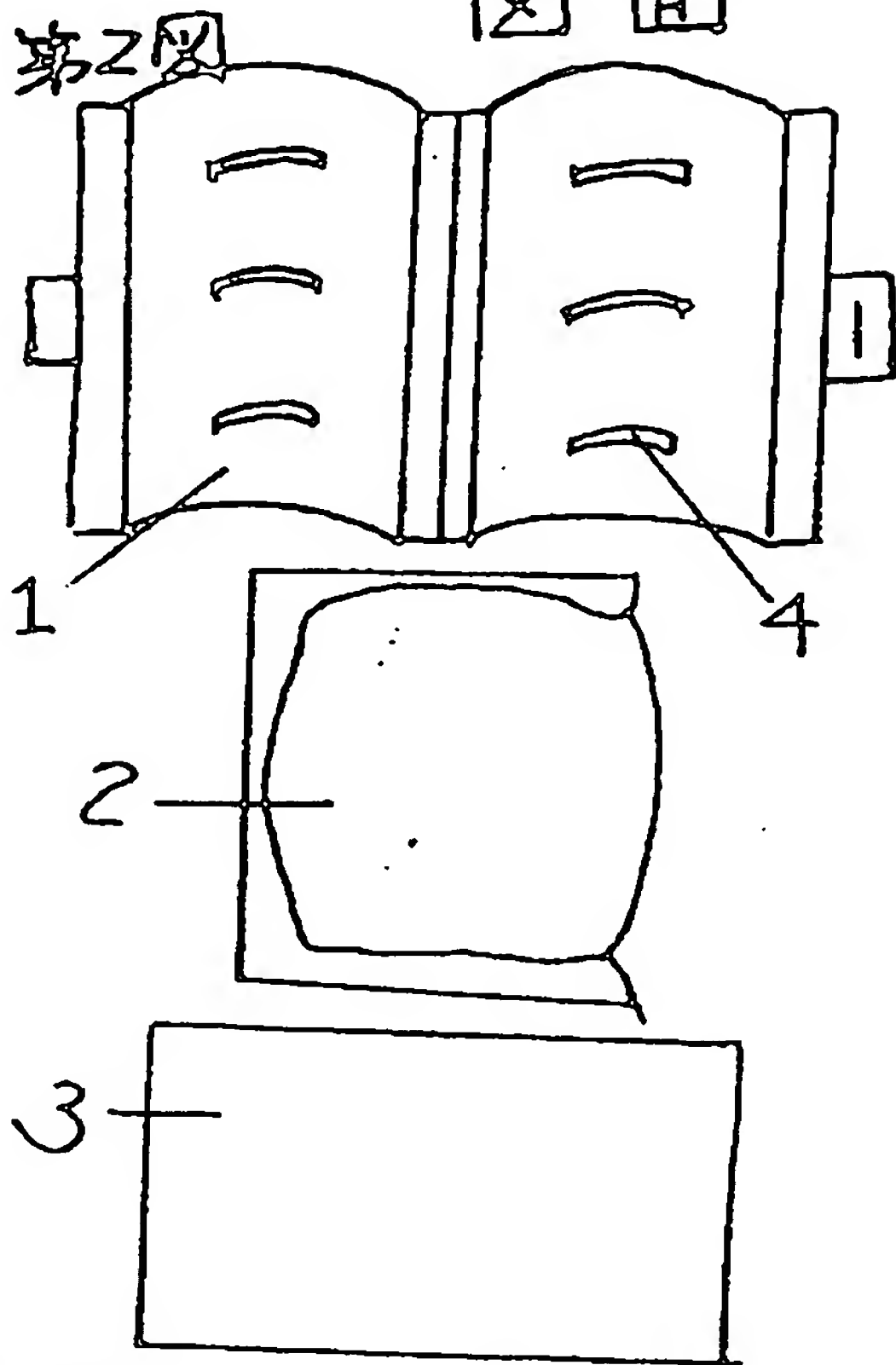
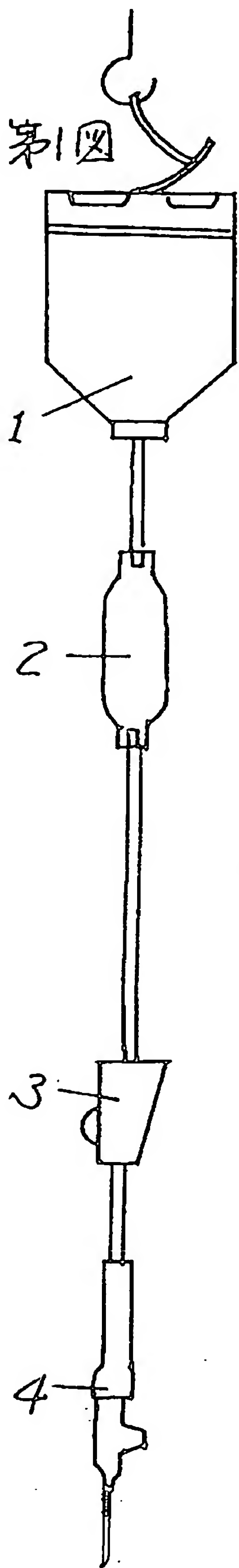
- 1…点滴器具に取り付けるヒーター
- 2…温度調節器
- 3…落下防止フック及びコード

第5図は、第1図の点滴器具に第2図、第3図、第4図で示した器具を取り付けた状態を示す。

- 1…第2図の器具を取り付けた図
- 2…第3図の器具を取り付けた図
- 3…第4図の器具を取り付けた図

実用新案登録出願人 鈴木 勝弘

圖面



實用新案登錄出願人 鈴木勝弘 684

2-126652

手続補正書(方式)

平成 2年 1月19日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成1年実用新案登録願第1-24554号

2. 考案の名称 点滴快適

3. 補正をする者

事件との関係 実用新案登録出願人

住所(居所) 〒462 愛知県名古屋市北区大我麻町193番地

加藤  
氏名(名称)

加藤 弘  
木 勝  
鈴



4. 代理人

住所(居所)

加藤  
氏名(名称)

5. 補正命令の日付 (発送日) 平成1年12月26日

6. 補正の対象 願書、明細書及び図面

7. 補正の内容 別紙のとおり

685

式  
査  
査



## 明細書

## 1、 考案の名称

点滴快適

## 2、 実用新案登録請求の範囲

①熱を加えることによって点滴開始から終了までの間の薬液の温度を常に体温近くに保つ器具。

②器具の使用は人間と限定しない。

## 3、 考案の詳細な説明

①点滴の薬液は冬はもちろんのこと夏も冷房によって低温である。

②薬液のボトルを他の場所で温めてから使用する方法もあるが、温度がだんだんと下がり一定に保つことができない。

③特に病気の重い患者の場合、点滴は何種類にもなり長時間になるため尿意を堪えて寒さに耐えている状態なので、早急に改善する必要がある。

以上の理由により、点滴ボトル－滴下管－滑車－注射針の間に使い捨てカイロを熱源としたもの、又は電気を熱源としたものを取り付けて薬液を一定の温度に保つ器具を考案しました。



実用新案登録出願人 鈴木勝弘

明細書

4、図案の簡単な説明

第1図は、点滴の器具の一例を示す。

- 1…薬液ボトル
- 2…滴下管
- 3…滑車
- 4…タコ管、注射針

第2図は、使い捨てカイロを点滴器具に固定する前の状態を示し、外側から1、2、3、と重ねて使用する。

- 1…カイロを点滴チューブに固定するホルダー
- 2…使い捨てカイロ
- 3…温度調節用の布、ゴム、綿等
- 4…ホルダーのカイロ滑り止め

第3図は、布、ゴム等で作った袋に使い捨てカイロを入れて点滴器具に固定する前の状態を示し、これをマジックテープで固定して使用する。

- 1…サイフ状のカイロ入れ
- 2…使い捨てカイロ
- 3…カイロを点滴器具に固定するマジックテープ

第4図は、電気を利用した温度調節器付きヒーターを点滴器具に固定する前の状態を示す。

- 1…点滴器具に取り付けるヒーター
- 2…温度調節器
- 3…落下防止フック及びコード

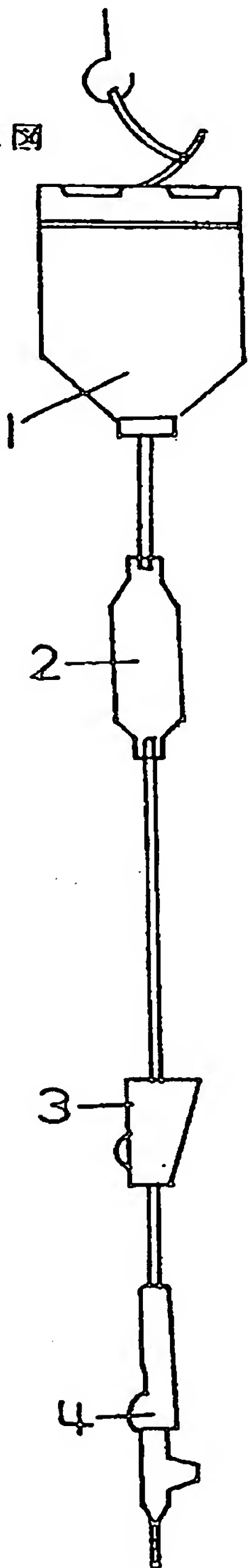
第5図は、第1図の点滴器具に第2図、第3図、第4図で示した器具を取り付けた状態を示す。

- 1…第2図の器具を取り付けた図
- 2…第3図の器具を取り付けた図
- 3…第4図の器具を取り付けた図

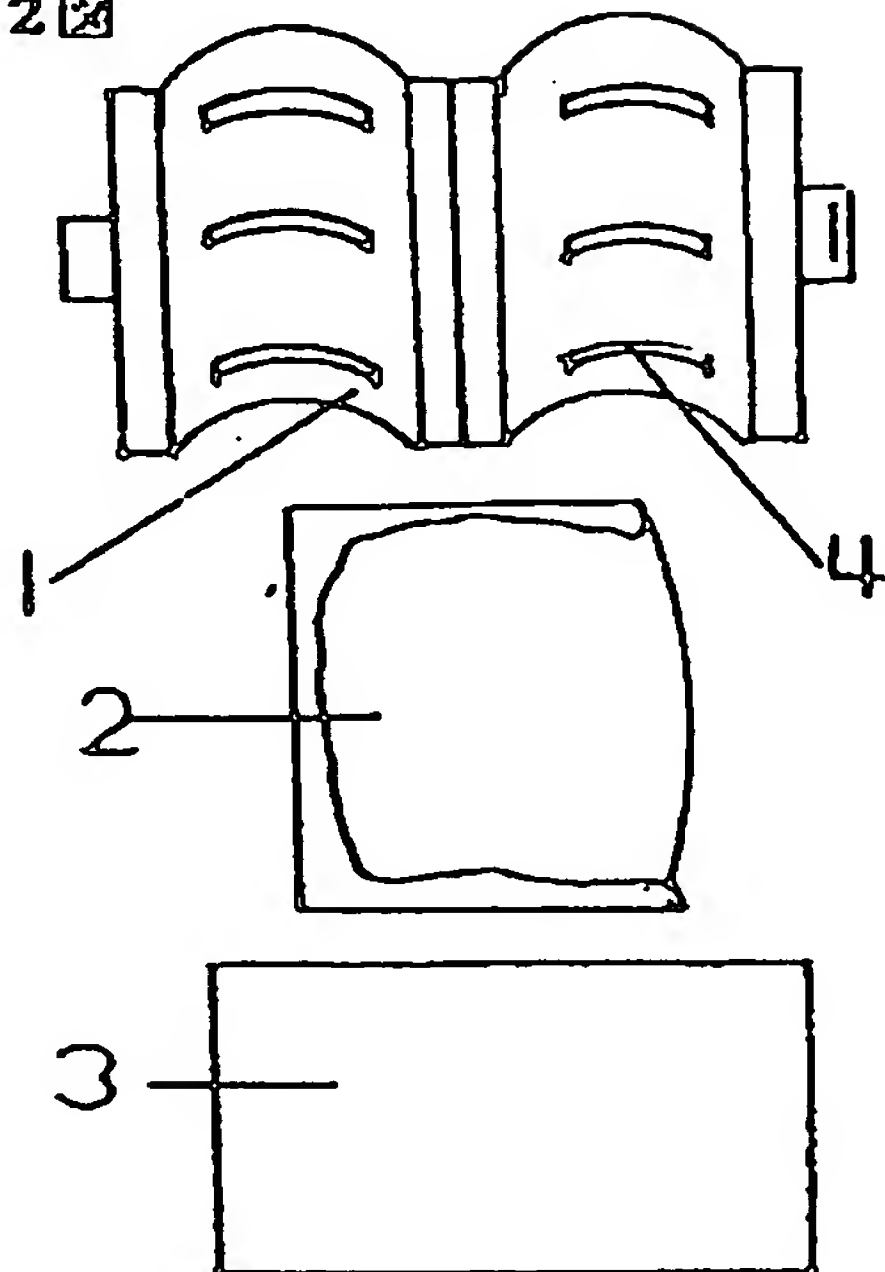


# 図面

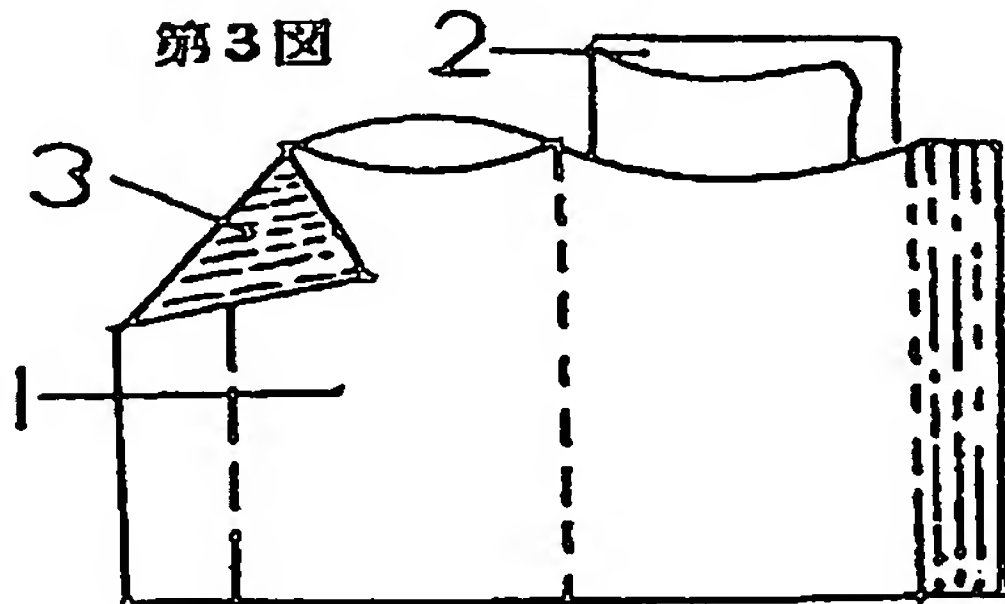
第1図



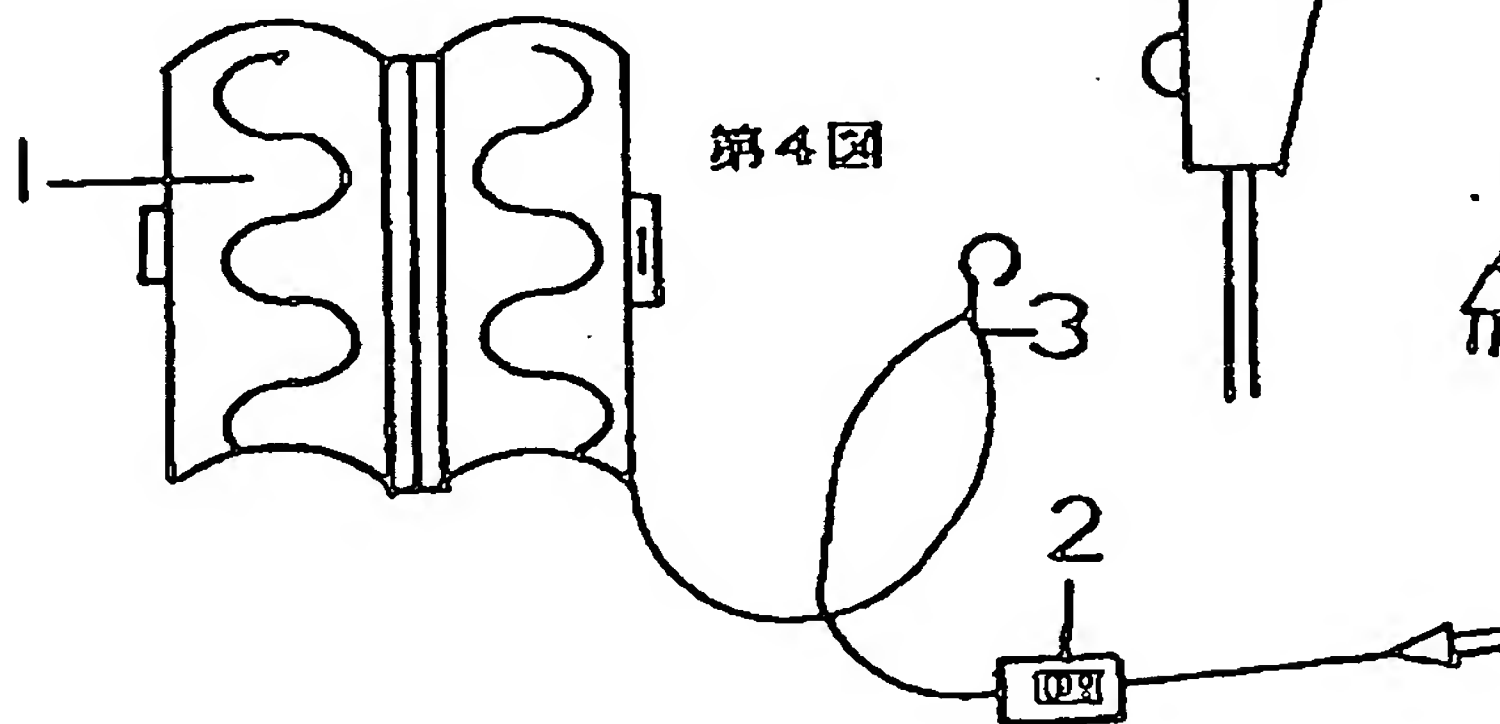
第2図



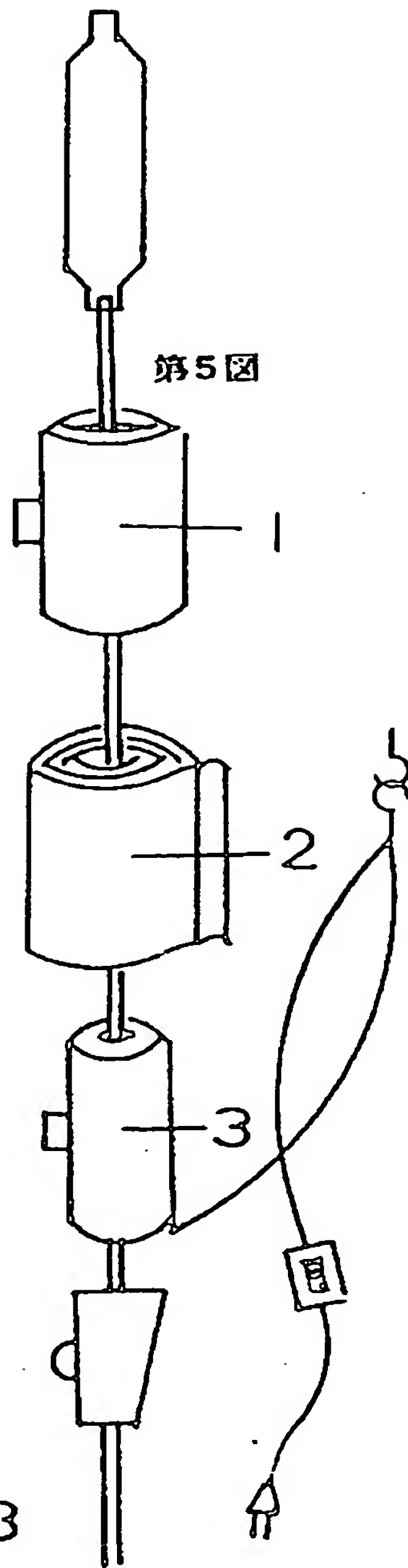
第3図



第4図



第5図



実用新案登録出願人 鈴木 勝弘

688  
 (特) 2-1,19  
 実開 2-12665 2

公開実用平成 2-126652

手続補正書（方式）

平成 2年 4月 5日

平成2年 4月 6日 差出

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成1年実用新案登録願第1-24554号

2. 考案の名称

点滴快適

3. 補正をする者

事件との関係

実用新案登録出願人

住所（居所）

〒462 愛知県名古屋市北区大我麻町193番地

氏名（名称）

氏名（名称）

鈴木 勝弘



4. 代理人

住所（居所）

氏名（名称）

氏名（名称）

5. 補正命令の日付（発送日）

平成1年12月26日

6. 補正の対象 明細書

7. 補正の内容 ①考案の名称を「点滴の苦痛を和らげる器具」と補正する。

689



方式  
審査



実開 2-126652